



2025 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 扶 桑 電 通 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長
有 富 英 治
(コード：7505、東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理本部長兼経営企画室長
下 山 万 里 子
(TEL. 03-3544-7211)

第3期中期経営計画 FuSodentsu Vision 2027 数値目標の見直しに関するお知らせ

当社は、2025 年 11 月 18 日開催の取締役会において、2025 年度を初年度とする 3 カ年の中期経営計画の最終年度の数値目標の変更について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. FuSodentsu Vision 2027最終年度 数値目標の修正について

	売上高	営業利益	営業利益率	ROE
当初目標 (A)	46,000百万円	1,840百万円	4.0%	9.0%
修正目標 (B)	55,000百万円	2,200百万円	4.0%	10.0%
B－A	9,000百万円	360百万円	－	1.0%
増減率	19.6%	19.6%	－	－

2. 修正の理由

当社は2025年9月期より、さらなる持続的成長と企業価値の向上を目指し、第3期中期経営計画「FuSodentsu Vision 2027～ココロ躍る未来に向かって Challenge DX Movement～」を策定し、事業および経営基盤の両面から持続的成長の実現に取り組んでおります。初年度となる2025年9月期は、富士通株式会社および同グループとの連携強化により新規商談が活性化したことに加え、防災・減災ビジネスやシステム標準化などの自治体向けビジネス、民需向けのパソコン・ソフトウェア販売が好調に推移し、業績は大幅に伸長いたしました。また、中期経営計画期間内の受注残高が大幅に増加していることや、新規商談の拡大が見込まれることを踏まえ、数値目標を上方修正することといたしました。

営業利益率につきましては、人財の確保やスキル向上、デジタルマーケティングへの対応に伴う販売管理費の増加に加え、入札関連商談や新規商談拡大により利益率が変動する可能性を踏まえ、当初の目標と同水準としております。

なお、本日開示の「株式会社システムメイクの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、当該子会社化は業績への影響は限定的であるものの、社会基盤分野におけるソリューション強化や協業領域の拡大など、中長期的な成長に資する施策として位置づけております。

これからも私たち扶桑電通は、企業理念「誠心誠意 お客様のお役に立つ愛される企業」のもと、ICT デザインパートナーとして全国の拠点で地域社会の皆様に寄り添い、持続的な企業価値向上と社会の発展に貢献してまいります。

以 上